

角打ち 談議

■ 第1部 シンポジウム 「角打ちは北九州のブランドとなりえるか」

- 日 時 **平成22年1月30日（土）** 14:00 ~ 16:30
- 会 場 生涯学習総合センター 大ホール（北九州市小倉北区大門一丁目6番43号）
- 参加費 無料

■ 第2部 市内角打ち名店巡り（16:30 ~）

- 北九州市内（小倉、戸畑、門司港、折尾など）にある角打ちの名店を巡ります。
- 参加者は、いくつかのグループに分かれて、各コースを巡ります。
- 北九州角打ち文化研究会のメンバーが、各地の角打ち店をご案内します。
- グループによっては数店を「はしご」します。
- 角打ち店での飲食代は、実費割勘とします。（1店につき、500 ~ 1,000円程度）

※ 上記2つのイベントについては、事前に参加申込みが必要です。

※ 参加申込み及びお問い合わせの際は、下記メールアドレス宛てにメールをお送りください。

info@kakubunken.jp

第1部 シンポジウム「角打ちは北九州のブランドとなりえるか」

◆ 日時 平成22年1月30日(土) 14:00 ~ 16:30

◆ プログラム

14:00 ~ 開会

14:10 ~ 基調講演「地域ブランドとコミュニティ」

関 満博 一橋大学大学院 教授

15:30 ~ パネルディスカッション「角打ちは北九州のブランドとなりえるか」

(コーディネーター)

中原 蒼二 元 北九州市企画政策室参与

(パネラー)

関 満博 一橋大学大学院 教授

松永 裕己 北九州市立大学 准教授

須藤 輝勝 北九州角打ち文化研究会 会長

16:30 ~ 閉会

角打ち
談議



【基調講演】

関 満博 (せき みつひろ)

一橋大学大学院商学研究科教授。経済学博士。専門は産業論、中小企業論、地域経済論。

『「B級グルメ」の地域ブランド戦略』『地域産業の人材育成塾』『地域ブランドと産業振興』など、地域ブランドについての著書多数。第19回サントリー学芸賞受賞ほか受賞の数も多い。

5年前からは全国の工業集積地などで私塾を展開。

各地の塾で若手経営者にエールを送っている。



中原 蒼二 (なかはら そうじ)

1949年 東京蒲田に生まれる。1963年 北海道富良野市に在住。1968年 東京都を転々。後年、小熊英二が『1968』を書くことになる年である。1979年 フランス・イタリアに在住。1982年 東京都を転々。1984年 浅草に在住。後年、村上春樹が『1Q84』を書くことになる年である。2004年 北九州市に在住。2008年 神奈川県逗子市に在住。次はどこへ引っ越そうかと思案中である。



松永 裕己 (まつなが ひろみ)

北九州市立大学ビジネススクール准教授。1969年佐賀県生まれ。

九州大学大学院博士後期課程単位取得退学。北九州市立大学講師(1998年~)を経て、現職。

専門は、地域経済学、環境ビジネス論。

著作に『「エコタウン」が地域ブランドになる時代』(共著:新評論)など。



須藤 輝勝 (すどう てるかつ)

北九州角打ち文化研究会会長。長崎県田平町生まれ。自称松浦党水軍の末裔。

昭和41年から北九州に在住。「酒とITは人と人のバリアを取り除くツールだ」と吹聴しながら、角打ちと福祉情報技術分野で活動をしている。

(Web) <http://www.kakubunken.jp/sudo/> (メール) sudo@kakubunken.jp

主催 北九州角打ち文化研究会

<http://www.kakubunken.jp>